



# 傳設計ニュースレター

## CONTENTS

- ◆今、伝えたいこと  
～コロナ禍前には戻らない～
- ◆某市保健福祉センター  
プロポーザルを終えて
- ◆BIMを通じて学ぶこと
- ◆その増築、ちょっと待ったあ！
- ◆ビル用自然換気システム  
「スウィンドウ」のご紹介  
～サンテック九州～
- ◆セミナー開催しました
- ◆舞鶴探訪(10)
- ◆社員名鑑



## 今、伝えたいこと ～コロナ禍前には戻らない～

この度の令和3年8月の豪雨により犠牲になられた方々とご遺族の方々に謹んでお悔やみを申し上げますと共に、被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興と皆さまの日常が一日でも早く取り戻せますよう、心からお祈り申し上げます。

さて、皆さまは、「世界で最も注目を浴びる天才哲学者」と呼ばれる、ドイツ生まれのマルクス・ガブリエル氏をご存じでしょうか。彼の主張は、こうです。「コロナ前の世界に戻ることは不可能である。コロナ前の日常に戻りたいという願望は間違いであり、経済を再構築する必要がある。その経済再構築の軸となるのが倫理資本主義である。」 コロナ前の世界は、人間同士の競争で地球を破壊してしまったため、そこには戻るべきではなく、改めて経済を再構築すべき、ということのようです。その軸となるという「倫理資本主義」は、倫理的価値観に基づいて、富の分配をすることでよい社会になる、結果として利益を生み出す、ということのようです。哲学や倫理は難しいですが、彼の言葉でより分かりやすく言うと「例えば、コロナ危機の今、裕福な人たちほどより稼いでいるが、その利益をコロナで苦しむ国々や子どもたちに分け与えるべきである。皆の幸せを優先することで、経済成長は緩やかになるが、今とは違った方法でお金を稼ぐことができる。コロナをきっかけに、世界の価値観の中心が倫理や道徳になるべきで、私はこれを倫理資本主義と呼び、アフターコロナの産物になる」そうです。

確かにこれには共感できる部分が多く、私たちレベルにおいても、コロナ禍が収束しても、以前のような社会に戻るべきではないと考えています。コロナ禍により、ビジネスの形態は変化しました。以前は当たり前だった出勤や取引先対応は、テレワークやWeb会議で可能であり、このことで移動時間や経費の削減もできるということが分かりました。そういった経験を生かしてこそ、新たな当たり前と言われる状態(ニューノーマル)がやってくるのではないのでしょうか。グローバルな富の分配はできませんが、社会に貢献できるような経営方針や戦略の見直しが必要な時を迎えているように思います。(代表取締役 岩本 茂美)



★ありがとうございます★

## 岩本 茂美 (いわもと しげみ)

株式会社傳設計 代表取締役

《最近のこと》

最近の(も!?)気分転換はゴルフ。ゴルフは他の方と接触する機会が少なく、社会的距離を保ちやすいスポーツだと思います。今も週一回の練習は欠かしていません。世の中が落ち着いたら感染防止対策を徹底し、思い切りプレーしたいものです。どなたか一緒に行きませんか？



★いい、いつの写真？★

## ★某市保健福祉センタープロポーザルを終えて★

先般、某市保健福祉センターのプロポーザルに参加しました。テーマは、既存建物の老朽化や高齢化社会への対応という視点から、保健関連事業による交流の場の提供、子育て、障がい者、高齢者に関する相談・支援を目的とした、複合化施設の計画でした。時間をかけて、皆で取り組んだプロポーザルでしたが、選定はされませんでした。この結果を踏まえて、皆で話し合いの場を持ち、大きく2点の反省点が挙がりました。

1点目は、私たちは、お施主様の意図をどれだけ理解できていたのかという点でした。提案書に自分たちの主観や情報を入れ過ぎてしまい、こちらとしては丁寧に対応したつもりが、改めて振り返ると、お施主様にとっては設計のポイントが分かりにくくなっていったように思いました。やはり、プロポーザルに取り組む際

には、その実施要領や基本構想について十分に読み込むことが必要です。その上で、お施主様の意図や要望を皆で確認し、IOリストを作成し、何が提案できるかを検討するべきだったと考えました。加えて、提案書の形が出来上がった段階で、お施主様のご要望に応えられているのか、計画建物が基本構想に沿っているのか、いま一度、考え直すべきでした。

2点目は、計画建物の中に複合化する施設を入れ込むことに注力しすぎてしまい、敷地内に残る既存建物



★この反省を糧に…次は！★

との繋がりを意識できていなかったことです。仮に、今回計画したプランで進めるのであれば、繋がりをなくしたことによる対案を用意した上で、提案するべきであったと考えました。

今回のプロポーザルの結果は残念なものでありましたが、この経験・反省を、会社として次のプロポーザルに生かしていくことが、今回のプロポーザル業務に携わった者としての責務だと考えています。(朝倉・倉原)

# 傳設計 設計業務

皆さま、初めまして。傳設計一年目一同です。弊社では、会社の方針として、2Dから3DのCAD(BIM)を使つての設計に移行することにしています。そのため、昨年6月から10カ月に亘り、外部から講師の方をお招きし、社員全員が参加する社内講習会を行いました。

BIMとは、今まで平面だった図面を立体的に表現したものです。皆さまもテレビ等でものを回しながら立体的に見る映像を見たことがあるかもしれせん。あのようなイメージだと思っただければと思います。BIMにはいくつかの種類がありますが、弊社では主にRevitを使用しております(他のソフトもちろん使用します)。今後、誰もがRevitの操作を学べるように、私たちは以前の社内講習会を基に、操作方法を解説した動画テキストの作成に携わっています。

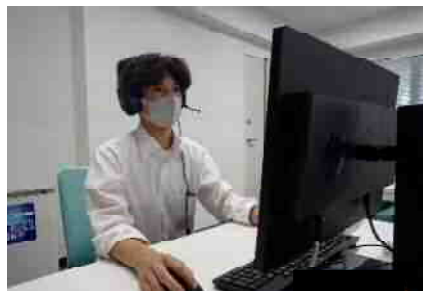
実際に動画テキストを作成し、感じ

たのは、①私たちが初心者ゆえに初心者目線で用語や操作について解説できること②自身が得た知識を動画テキストとしてアウトプットすることで、さらに理解が深まる、というメリットでした。また、操作だけではなく、設計の詳細部分の理解も必要であるため、先輩からチェックやアドバイスをいただくことができました。そのおかげで、先輩ともコミュニケーションが図れ、会社に早く馴染めたという効果もありました。

最近では、お施主様が内観イメージをしやすいように、Revitを活用し、素材や細部のディテールをビジュアル的に表現した資料作りに挑戦しました。今後は、Revitでお施主様や施工業者の方にも分かりやすい設計をしたいと思います。(指方、田中、安長、山口)



★講習受講中★



★動画テキスト作成中★

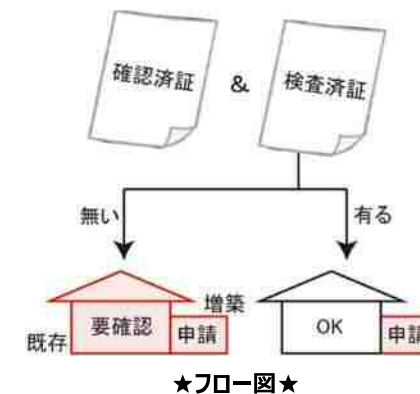
## ★BIMを通じて学ぶこと★

## ★その増築、ちよつと待ったあ！★

皆さまは「自宅を増築したいなあ」と考えたことはありますか？ 皆さまに増築を考える際に、必ず確認して頂きたいことがあります。それは、「確認済証」と「検査済証」をどちらも所持しているかということです。

検査済証とは、「建築物及びその敷地が建築基準関連規定に適合している」ことを証する文書で、建築主事または指定確認検査機関から交付されるものです。検査済証の取得が徹底されたのは、2005年以降なので、それ以前の建物は、検査済

証がない可能性があります。検査済証がない場合、増築計画によっては既存建物が建築基準法に適合するか確かめ、審査機関に報告する必要があります。既存建物の確認は、構造部分が見えないことも多く、加えて既存建物の是正やより詳細な検討が要求される場合もあるため、相応の期間や費用が必要になります。報告が認められれば、現行法規に適合していると認められるので、増築計画の選択肢が広がります。検査済証がなくても建築計画によつ



★フロー図★

ては増築も可能ですが、建築計画に制限が生まれるため、想定していた使い方ができないことが考えられます。

報告によって、既存建物の価値を高めることにも繋がりますので、増築をお考えの際は、一度ご相談されることをお勧めします。弊社でも増築のご相談に対応していますので、お気軽にご連絡ください。(松岡・福富)



★確認して頂きたいこと★

# NEW&HOT TOPIX

三協立山株式会社さんの100%出資の会社で、ビル建材、住宅建材、エクステリア建材等を取り扱われている、株式会社サンテック九州さんに「風圧を利用した換気」について伺いました。

「コロナ禍や地球温暖化防止の気運が高まる中、私たちビル用建材を扱う会社にも社会的使命としての省エネや二酸化炭素排出抑制の技術的な課題が本命題となってきました。こうした中、明日も健やかでいられるよう私たちにできることの一つが「換気」です。機械空調に頼りがちであったビルの居住空間に、島国である日本の特性を活かし、四季の風や気温の変化といった未利用エネルギーを有効活用できるシステムを構築できる窓が今回ご紹介する「スウィンドウ」です。「スウィンドウ」は、一般



★給気用スウィンドウ外観★



★給気用スウィンドウ内観★

的な固定された開放窓と違い、バランスウェイト(重り)と回転軸により無風状態で45度開放されています。こうした中、明日も健やかでいられるよう私たちにできることの一つが「換気」です。機械空調に頼りがちであったビルの居住空間に、島国である日本の特性を活かし、四季の風や気温の変化といった未利用エネルギーを有効活用できるシステムを構築すれば、風や温度差を利用して理想的な置換換気を行い、不要なもの

を排出し、建物内の空気を新鮮に保つことができるのです。」

風の力で換気ができる、それだけで気持ち良さそうな話ですが、「大雨や強風が吹いたら？」と思われるかもしれません。そのような時は、別途設置のセンサーが感知し、自動で開閉する仕組みだそうです。

弊社では、福岡市新青果市場会館棟を設計・監理させていただいた時に、この「スウィンドウ」が採用されました。(藤田)

## ★ビル用自然換気システム「スウィンドウ」のご紹介★ ～株式会社サンテック九州～



## ★セミナー開催しました★

8月11日に「建物に新しい価値を付加するリノベーションセミナー」を開催しました。今回は、ご来場とZoomでの開催でしたが、多くの方にご関心をお寄せいただき、ありがとうございました。

弊社が本社を置く、舞鶴DSビルは築48年のビルを改修したものです。当初は、建て替えかリノベーションか迷いましたが、総合的にリノベーションがいいだろうと判断しました。その決定までの過程や実際にリノベーションを行い、その節税効果、入居率アップ、資産価値の向上について理解が深まったため、不動産収支にお悩みの方の参考になればと思い、開催しました。

講演後に、社長の岩本がご来場者様に弊社ビルをご案内しました。ご来場者様のお話を伺っていると、建物を長く維持管理することで、金銭的なメリットや環境への配慮があるとお考えになっている方が多いように感じました。また開催し、皆さまのお役に立つことができればと思っています。(古屋)



★セミナーの様子★



★ビルご案内中★

## ★舞鶴探訪 (10) sourire (スリール) ★

とある夏の暑い日、外出先から帰ってきた上司が「お土産があるの」と差し入れてくださったパン。開封しなくても漂ういい香りと大人を感じる見た目に社員から拍手と歓声！今回はそのパンを作っている「sourire」さんをご紹介します。

sourireさんは2020年4月にオープンしたパン屋さんで、伺った時にはチョコやフルーツなどを練りこんだ食パンやフォカッチャなどが並んでいました。自分用に、と「焼きカレーパン(食パン)」を購入したのですが、食パンにしては何だか重い感じがしました。帰宅後、パンを切ってみると、スパイスから作られたカレーがずっしりずっしりと練りこまれていました。揚げていないので、トースターで焼くとカリカリになっておいしかったです。

sourireさんは、もともとイートインスペースを準備されていたそうですが、コロナ禍で活用できていないそうです。オーナーさんもスタッフの方にもこやかで、居心地のいいお店なので、落ち着いたらゆっくり食べに行きたいなと思います。(古屋)

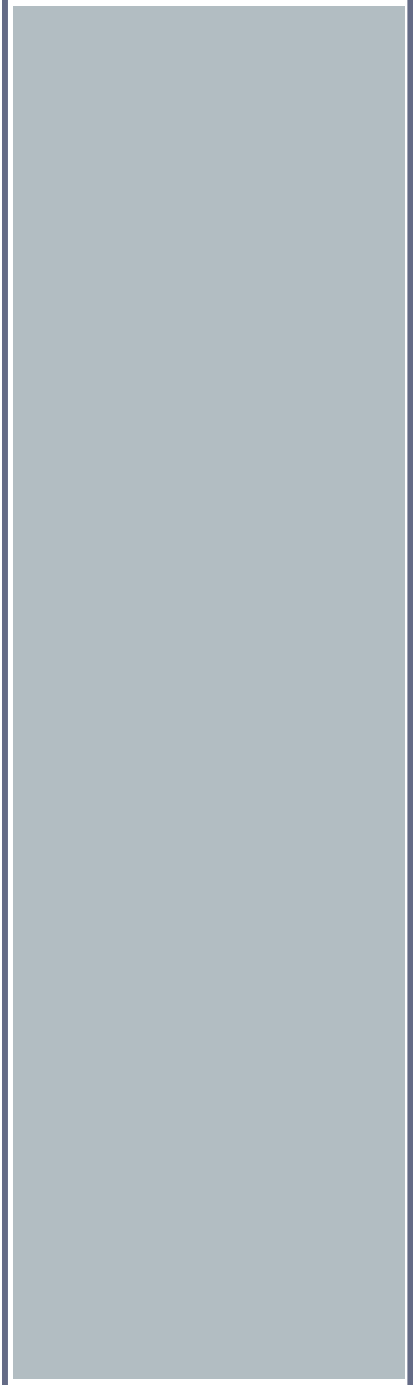


★テンション上がります★

<お店情報>

sourire (スリール)  
福岡市中央区  
舞鶴1丁目2-26 1F  
092-791-5558

## 社員名鑑 vol.40



◆ 編集後記／／／おかげをもちまして、傳設計ニュースレターは40号を迎えました。  
◆ 1号発行時は、A4サイズで自社印刷。発送直後は多くの反響が寄せられました。あれから10年。今なお改良を加えていますが、これからも設計事務所として考えることや皆さまのお役に立つ情報を発信してまいりたいと考えております。／アンケートを同封しておりますので、ニュースレターのご意見、ご感想をお聞かせいただけましたら、幸いです。(古屋)



「想い・安全・未来をカタチに」  
株式会社 傳設計  
DEN ARCH. & ENG. OFFICE

〒810-0073

福岡市中央区舞鶴1-6-13 舞鶴DSビル

TEL:092-737-1500 (代表)

FAX:092-737-1501

